



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No. 221 (2022-2)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2022. 9. 1

発行者：(公社) 滋賀県理学療法士会 平岩康之
〒527-0145
滋賀県東近江市北坂町967
びわこリハビリテーション専門職大学内
電話番号/FAX番号：0749-46-0001

編集者：島田 吉建 (甲西リハビリ病院)
山添 徹 (公立甲賀病院)
山本 裕介 (公立甲賀病院)

印刷所：(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

第37回滋賀県理学療法学会を終えて

岩井 宏治

(元・滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部/
現・星城大学リハビリテーション学部理学療法学専攻)

この度は、第37回滋賀県理学療法学会の開催にあたり、会員の皆様には多大なるご支援を頂き、誠にありがとうございました。ここ数年、WEBでの学会を何度か経験する中で、利便性というメリットは確かにありますが、やはり学会というのは、会場に行くことでしか味わえない雰囲気や緊張感があること、一方向的な知識の受け渡しではなく、顔を合わせ、ディスカッションすることが大切だと痛感しました。そのため、是が非でも対面で開催したい、という想いで関係者一同準備をしてみました。開催直近になり、第7波のコロナ感染の急激な拡大を認めるという、まさかの事態に陥りましたが、何とか多くの皆様のご尽力により、無事に3年ぶりの対面での学会が開催できたこと、心より嬉しく思います。

学会では、13演題の口述発表に加え、大淵修一先生、平田知大先生による教育講演、市民公開講座が執り行われました。登壇頂きました先生方には、この場を借りてお礼申し上げます。会員のみならず、市民の方からの質問もあるなど、活発な意見交換を目の当たりにし、久しぶりに学会の本質に触れることができました。

また学会日当日の7月17日は「理学療法の日」であり、公益事業部より「理学療法の日」に関わる広報イベントや、障害者スポーツ支援部のポッチャ体験イベントなど、学会と各事業部とのコラボ企画が実現しました。今までの学会にはなかった取り組みであり、これからは事業部の垣根を越えて、ワンチームで学会が盛り上がっていくことを願っております。

学会のテーマである「健康しが」は「健康な人づくり」と「健康なまちづくり」を柱にした取り組みのことを指します。この学会が、リハビリテーションという手段を通して、理学療法士だからこそできる、健康な人づくりやまちづくりのヒントになれば幸いです。最後になりますが、新型コロナウイルスの感染拡大が一日も早く収束することを願っております。



チェアスキーヤーとの出会い、そして現在①

日本チェアスキー協会 普及部長 井上 英年

(1) はじめに

1987年19歳の時、交通事故により頸髄損傷（C6b2完全）となる。私にとってスキーとは、健常者の時に行っていたスポーツの一つであり、昔から大自然の中で感じる山が好きな人間であった。しかし、車いす利用者になると、登山がとても難しく、ほぼ不可能なことに感じるのだが、チェアスキーをすれば、山に上がり、眼下に広がる大地を見ることが出来るのである。また、使用する道具に差はあるものの、健常者と共に障害を持つ者が同じ斜面を滑ることが出来るという素晴らしいスポーツでもある。

(2) チェアスキーとの出会い

兵庫リハビリテーションセンター中央病院に入院中、退院の日が近づき、担当OTに退院後、何がスポーツをしないの？と問われ、1冊のアメリカの障害者スポーツ雑誌（スポークン・スポークス）を渡された。当時、退院後は通常ツインバスケットチームに入るのが通例なのだが、この雑誌との出会いは正に衝撃的で、なんと胸までユーコン川につかりながら、フィッシングをする頸損（C5）を見て驚き、またクライミングをして山の頂で車いすに移乗しなおして夕陽を見ている脊損（Th12）の写真と記事が掲載されていた。その中で脊損（Th12）がMono Ski（チェアスキー）をしている記事を見つけてしまった。

(3) スキーをしたい

健常者の時のように、滑っていたあの斜面をもう一度、滑りたい。頸髄損傷となり、体温調節機能を失っている身で、厳冬期の中で行うスポーツが果たして出来るのか？という戸惑いよりも、スキーへの憧れが私の中で遥かに勝っていたのを今でもはっきりと覚えている。そこで、当時雑誌に載っていたアメリカ合衆国・コロラド州にあるwinter park国際障害者スキーセンターに病院からFAXをしてもらい、情報を得るべく動いてみた。2週間後、winter parkよりFAXにて返事があり、頸髄損傷ではMono Ski（チェアスキー）は出来ないという回答で、バイスキーという道具があり、バイスキーならばチャレンジすれば乗れないことはないという回答であった。当時、バイスキーも日本では見ることも出来ず、ぼやけたFaxを失意の中、受け入れる事しかできなかった。担当PTにMono Ski（チェアスキー）が出来ない現状を話していると、神奈川県立リハビリテーション病院に日本チェアスキー協会というのがあり、そこではチェアスキーに関する研究や開発を行っていると聞かされ、なんと開発に関わるリハ工学エンジニアの沖川 悦三さんと知り合いであることを私に伝えてくれたのである。まさに「溺れる者は藁をもつかむ」もので、早速連絡先を教えてもらい、兵庫リハから自家用車に乗り、約8時間をかけて神奈川リハに向かったのである。神奈川県立リハビリテーション病院のリハビリテーション工学研究室は、まさに夢のような空間であった。富士山を登った車いすや、チェアスキーなど、他のスポーツ機器が数多く展示されていた。またチェアスキー（Mono Ski）世界的な情報として、頸髄損傷がチェアスキーをすることの難しさや危険性などの説明を受けつつも、1994年リレハンメルパラ

リンピック第6回冬季パラリンピックのビデオの滑降の映像を見せてもらった。その中に開催国であるノルウェー選手の中に頸損（c6不全）の選手が参加しており、滑走中に転倒をしたものの、無事完走をしている映像だった。未だチェアスキーで滑ってもいけないのに、あの人のようになりたいと思ってしまった自分が、確かにその場に存在したのである。なお現在、頸髄損傷のチェアスキーヤーは、世界中で日本だけに存在しており、海外では脊損（Th5）位からしかMono Ski（チェアスキー）を行っていないのが現状である。

(4) チェアスキーは難しい？

健常者の時に17歳でSAJ1級を取得し、20歳まで準指導員を受検出来ない間、Alpine Race世界にのめり込んでいたこともあり、滑走感覚等は脳が覚えているのだが、脊損が使える道具を頸損でも使えるように道具の改良や新たなアプローチとしての開発などに多くの年数を費やした。ゲレンデを自由に滑れるようになったのは、長野パラリンピックで登場した長野モデルのプロトタイプに乗せていただける機会があり、その時に初めてチェアスキーヤーとしての滑れるようになったことを覚えている。実にチェアスキーを初めてから、なんと7シーズン目（6年目）で、はじめてJCSA・3級のバッジテストに合格することが出来たのである。その道のりは、とても険しく当時、私の指導に関わっていないJCSA公認チェアスキー指導員は、皆無であり多くの諸先輩方から支えられた結果が今の自分を支えてくれている。まさに日本チェアスキー協会が無ければ、間違いなくチェアスキーヤーとして健常者と同じ斜面を滑ることは出来なかったであろう。

(5) 元アルペンレーサーとして

チェアスキーでのレースにも興味があり、2000年から本格的に競技者として活動をはじめた。競技クラスはLW10-1というクラスで、胸椎7番完全損傷までが同じクラスとなる。例えるなら小学生と大人が同じ土俵で競技を行うようなものである。技術系（SL・GS）では身体能力の差を補うことはとても難しく、勝つことが難しい。だが、高速系（SGS・DH）なら落下する力を我が身に宿すことさえすれば、落下力の利用が無限の可能性を、生み出し、身体能力的な弱者が強者に勝てる可能性があることを健常者のころから私は知っていた。2002年には日本ナショナルチーム入りを果たし、国内の環境では自身の高速系のトレーニングが満足に行えないので、アメリカのコロラド州にあるアメリカの2軍チームでもあるwinter park teamに練習環境を求めて渡米。競技者として全力で活動をして、年間滑走日数が200日を超える年もあった。2007年に引退。現在は日本チェアスキー協会・公認チェアスキー指導員・A級検定員の資格を取得し、後進の育成に努めている。

(6) チェアスキーを取り巻く環境

チェアスキーは数ある障害者スポーツの中で、最もお金がかかるスポーツだと言っても過言ではない。道具を揃えるだけで概ね100万円。これは、競技を目指す人であろうが、家族とレジャースキーに出かけようが、変わらない必要な金額である。まずはチェアスキーを楽しむなら、就労していないと楽しむことすら難しいスポーツなのかもしれない。

チェアスキーヤーとの出会い、そして現在② 2021-2022シーズンのクラブ活動について

日本チェアスキー協会 普及部長
兵庫県チェアスキー協会 事務局 井上 英年

はじめに

今季もコロナ禍での活動となり、蔓延防止の発令と共に活動の自粛、制限がある上での活動となったが、コロナ禍で開催された東京オリンピック・パラリンピックの開催後については、競技系の大会に限り、予防対策上の問題がなければ、開催されるようになった。

但し、野外での開催で個別に感染予防対策を万全にした上での実施となった。

1) 日常の交流や情報交換を行える機会が大幅に制限されるコロナ禍での活動について

直接出会い、話し合い等ができないコロナ禍ではSNSやZOOMなど用いて各クラブ員との連絡を積極的に取るようにしてクラブ活動を円滑に進めており、2021-2022シーズンの活動予定も決定し、ホームページも運用して広く公募をかけて活動を行った。

兵庫県チェアスキー協会HP (スケジュール)

<http://www.eonet.ne.jp/~inoinoino/schedule.html>

2) 冬季の蔓延防止措置による県外移動の規制と、外出による他者との接触の禁止

一昨年同様、関西圏のコロナウィルス感染患者急増に伴い、クラブ行事の多くが中止となってしまった。クラブの性格上、スタッフの中に医療従事者が多い関係上、スタッフの参加者不足に伴う行事の縮小や、中止をせざるを得ない状況が残念ながら今季も繰り返してしまった。今後、クラブの方針として医療従事者以外のスタッフの確保など、スタッフが少ない中での行事運営等を考えていかなければ、来季からのクラブ運営は難しい状況となると予測される。

3) チェアスキーの指導 (普及活動) について

チェアスキーはスキーである。その性格上、大自然の中で行うものであり、尚且つ障害レベルに合った道具を用いて適切な指導者の下で単独で滑れるようになるまでに掛かる年数は、概ね2~3年程度必要となる種目となります。しかも、チェアスキーは近くの体育館で行うスポーツと大きく異なり、スキー場まで自家用車等で移動しなければならず、また比較的車いす利用者の利用が難しいスキー場 (身障者トイレ若しくは、洋式トイレで車いす利用が使い易い等) にて講習会を行う必要性があります。

また、チェアスキーの上達を目指す上で、チューンナップやチェアスキー本体のセッティング等、個々の成長に必要な重要な事柄については、雪上にて個別に伝えることが多く、またYouTubeなどの動画配信などでは、個々の受講者 (クラブ員の) 能力に対して適切に技術を伝えることは、難しく、この2年間各クラブ員のそれぞれが抱える問題について共にグレンデに立つ講習会が中止となり、上達に必要な様々な技術を伝える機会が多く失われており、各クラブ員

の中に徐々に閉塞感が募りつつある。スタッフ不足により、介助者がおらず数少ない滑る機会を失っている会員も存在する。チェアスキーの性質上、車いす利用者が移動困難な雪上を移動してゲレンデに向かい、それぞれ準備をしてゲレンデに向かわなくてはならないからである。まさにチェアスキーはスキーであり、厳冬期に大自然の中で行うスポーツという素晴らしさであり、また難しさでもある。

4) 今後の活動について (2022 - 2023 シーズンに向けて)

世界的にコロナ禍から脱し、円滑にクラブ活動が行える状況になれば、新規会員の獲得や、各クラブ員の技術向上が大いに期待できると想像する。来季こそ、平和な日々が訪れることを切に望む次第です。



障がい者スポーツ用具貸出事業案内

会員およびその所属先の方々が障がい者スポーツに触れる機会を増やすため、スポーツ用具貸出事業を開始します。会員が所属する施設団体内での体験会やイベント等にご活用ください。

借用される場合、「障がい者スポーツ支援部用具貸出に関する規程」を必ずお読みいただき、「スポーツ用具借用申請書」にて障がい者スポーツ支援部までご提出願います。貸出料は無料です。不明な点、用具の搬送方法については当部まで事前にお問合せください。

規定や申請書は滋賀県理学療法士会ホームページ「情報」—「その他の情報」に掲載されております。

貸出用具

- ① ボッチャ用具(ボッチャ赤青ボール、ジャックボール、審判用具) 1セット
- ② フライングディスク(公認) 10枚
- ③ フライングディスク アキュラシーゴール 1コ



問合せ先 滋賀県理学療法士会 障がい者スポーツ支援部
ptshiga.parasports@gmail.com 担当 石井

2022年度 滋賀県理学療法士会 障がい者スポーツ支援部 研修会

テーマ

障がい者スポーツの理解を深める ～各専門職からの講義～

- 1) 2020東京オリパラ日本ボッチャチームトレーナーとして参加した<理学療法士>から
- 2) 競技用義足について<義肢装具士>から

日時・形態

2022年11月27日(日) 9:00~12:10 (参加開始8:50)

研修形態: ZOOMのみ

講師

栄徳 美沙季 氏 (株式会社アイネットケアサービス、一般社団法人 日本ボッチャ協会)

橋本 寛 氏 (KAWAMURAグループ (パシフィックサプライ株式会社/川村義肢株式会社 事業開発本部 義肢装具事業部))



※申込方法等の詳細は9月上旬ごろ滋賀県理学療法士会HP等で広報予定

地域ケア会議・介護予防推進リーダー取得に関する案内

日本理学療法士協会では、『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の2つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることでできる人材の育成を進めています。そのための育成制度として、【地域ケア会議推進リーダー】、【介護予防推進リーダー】の2つの資格コースが設定されています。



目指すリーダー像

【地域ケア会議推進リーダー】

- 地域ケア会議の目的を踏まえた上で、会議に参加し、自立支援に繋げる助言ができる
- 最終的には、理学療法士の強みを生かして総合的に地域包括ケアを推進できる

【介護予防推進リーダー】

- 理学療法士としての専門性を活かした評価ができる
- 効果的な予防プログラムを企画・提案できる
- 多職種や住民との協働による予防プログラムを企画・提案できる

超重要！

3項目の修了が条件！

履修要件

- ① e-ラーニングの受講 ② 導入研修の受講 ③ 士会指定事業の参加

上記3項目を修了することで、【推進リーダー】としての資格が付与されます。

地域ケア会議・介護予防推進リーダー導入研修について

- 開催の案内は、ホームページ・士会ニュースなどで広報しますので、ご確認お願い致します。
- 登録申請およびe-ラーニングの受講を進めておいてください。

※注意事項※

推進リーダー導入研修の受講対象者は、e-ラーニング受講修了者または e-ラーニング受講免除者の方です。**各推進リーダー導入研修の受講前までにe-ラーニングを必ず修了して下さい。**e-ラーニング受講未修了の方も、導入研修を受講いただくことは可能ですが、履修済とはなりませんのでご注意ください。また、e-ラーニングの免除申請をされる方は、**導入研修開催の1週間前までの免除申請**をお願いします。

取得の手順に関する情報

<取得の手順に関する情報>

日理協会HPマイページ → 会員専用コンテンツ → 「地域包括ケアシステム推進リーダー」内に取得に関する詳しい情報がありますので、ご確認お願い致します。

【問い合わせ先】 地域包括ケア推進部 shiga.chiiki@gmail.com

2022年度『理学療法の日』『理学療法週間』活動報告

今年度の『理学療法の日』『理学療法週間』の活動報告をさせていただきます。大きく分けて滋賀県理学療法学会の中でブース開催、広報車活動を開催しました。

まず第37回滋賀県理学療法学会の中で『理学療法の日』『理学療法週間』のブースを設けて、滋賀県民の方へ理学療法(士)を知っていただけるようにパネル展示や案内等をしました。また参加していただいた方にはPTハンドブックやPTガイドなどを配布し地域活動等で良ければ活用していただけるように紹介しました。



広報車活動では、例年のように滋賀県内の病院や施設に御協力をしていただき、『7月17日は理学療法の日』と書いたマグネットシートを送迎車や訪問車などに貼り付け地域を走り広報活動を実施しました。また公益事業部からも滋賀県南部～北部にかけて積極的に広報車で走り、広い範囲で広報活動をしました。



理学療法(士)を知っていただき身近に感じていただける活動は必要だと思いますので、今後もこのような活動を実施し一つのきっかけになっていただけたら幸いです。



公益社団法人 滋賀県理学療法士会 公益事業部
甲賀市水口医療介護センター

岸本 美地彦

第11回 写真コンテスト 作品募集中



今年も会員の皆さんからの写真を大募集し、写真コンテストを開催いたします。

応募作品のテーマは自由ですので、奮ってご応募ください。

作品テーマ

設定なし

※応募作品には、必ず題名をつけていただくことを条件とします。

締め切り日

令和4年10月10日(月)

応募方法

デジカメ・スマートフォンなどで撮影したものを下記までお送りください。

件名を“写真コンテスト”とし、①写真題名、②氏名、③所属、④電話番号を記入してください。

応募先：ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp

審査方法

会員によるWeb投票を行い、各賞の表彰を行います。

グランプリ：1作品 準グランプリ：1作品
優秀賞：5作品 参加賞あり

応募に際しての注意事項

- ・応募は1人につき2点までとします。
- ・被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。
- ・全応募作品の使用権は滋賀県理学療法士会に帰属します。
- ・応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りです。
- ・公共性にそぐわないもの・不鮮明なもの等は、応募されても無効とします。
- ・応募数が一定数に満たない場合は、コンテストを中止する場合があります。

お問い合わせ先

お問い合わせ先：厚生部 (ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp) までメールでお問い合わせください。

こんな本を読みました！ 並河 孝



本の名前 「世界一効く健康ウォーキング」

著者：能勢 博（信州大学医学部特任教授）

価 格：1200円（税別） 出版社：株式会社池田書店

地域でウォーキングの健康講座をする前には、この本を読み返します。読み始めると、ウォーキングは運動不足になり易い高齢者に、一番人気があるが、意外と知られてないことが書かれている。一日8000歩、歩くことが必要なのは有名で知られているが、友としゃべりながらだらだら歩いたのでは、体力も向上せずに生活習慣病の改善等は望めない。つまり、ただの散歩では、ほとんど効果はないとのこと。そこで健康増進を目的に行うには、どうすれば良いのでしょうか。『インターバル速歩』が効果的と研究成果で示されている。このウォーキング法は、ややきつい早歩きとゆっくり歩きを3分間ずつ交互に行い、これを一日6セット30分間、週4日以上を5か月間行う。この歩きで大切なポイントは、『ややきつい早歩き』の目安です。自分で感じる負荷の程度が大切で、その程度は①5分間歩いていると息が弾み、動機がしてくる。②10分間歩くと少し汗が出てくるものの、友人と歩いているなら会話ができる。③15分間歩いていると、すねに軽い痛みを感じる。としている。ゆっくり歩きは、早歩きのしんどさを回復させる3分間です。これを交互に行うので継続できるのです。後半の体験談では、継続して膝の痛みが気にならなくなった。高血圧が改善した。骨密度が上がった、坂道が楽になった等の感想が述べられている。体験談の人達は、年単位で続けられているのが特徴である。また、足腰の痛い人のために『水中ウォーキング』もっと運動したい人のための『坂道ウォーキング』術後や要介護からの回復に『リハビリウォーキング』方法が紹介されている。人工股関節術後の在宅リハビリ後の効果データが紹介されている。歩行訓練を担当する理学療法士としてこの本を是非ご一読頂きと締めくくられている。血圧について一回り教養がつき、知識人になれる一冊です。是非ご一読下さい。



令和4年度 公益社団法人滋賀県理学療法士会理事会 第2回議事録(要約)

開催日時：令和4年6月9日(木)
18時5分から20時35分

開催場所：Web会議 (Zoom)

出席理事：平岩 康之 宇於 崎孝
柴田 健治 吉田 環
石井 隆 川崎 浩子
久保 貴弘 森 智子
森 美穂

出席監事：前川 昭次

議長：平岩 康之

る。滋賀学会の追加予算(食事会場、受付人数の増員等)を認める。年会費の減免などについては保留する。

○報告事項

1. 施設代表者会議を実施する。
2. 近畿理学療法学会大会 滋賀士会担当で準備していく。

日程：2024年2月4日(日) 予定

場所：未定(栗東芸術文化会館SAKIRA、大津市民会館を予定)

テーマ：人口減少時代 私たちは何ができるか? 何をすべきか?

～理学療法の多様化とポテンシャル～

3. 障がい者スポーツ支援部用具貸出事業
4. 2025年滋賀障スポ大会コンディショニングルームについて
5. 士会ニュース8月号はカラー版の発行時期・記事内容について

議題

○審議事項

議案1. 総会報告、補正事業計画予算計画

現在、収支相償がプラスになっており、消化計画を県に提出する。昨年から引き続き地域人材育成強化事業(ブロック化)を継続実施す

事務局便り

マイページの確認をお願い致します!

- 新会員管理システムの導入に伴い、マイページや研修会申請等の手続きに変更がございます。協会マイページにアクセスしていただき登録されている情報が正しいものか確認をお願い致します。ログインできない方は、至急対応をお願い致します。

協会マイページのログインID・パスワードを紛失した方は、日本理学療法士協会HP内に案内がありますので、ID・PWの再発行の手続き等よろしく願いいたします。

(<http://www.japanpt.or.jp/inquiry/faq/mypage/system20002.html>)

情報の更新をお願い致します!

- 異動や退職等で住居を異動されたにも関わらずマイページの変更を行っていない方がおられます。郵送物が届かない等のトラブルがございます為、職場・住居を異動されました場合は必ずマイページの更新をお願い致します。

情報の更新で不明な点がある場合は日本理学療法士協会へ問い合わせをお願い致します。

変更されていない方がおられます!!

outlook.jp、hotmail、ezwebで管理者ネットワークに登録されている方へ

- 管理者ネットワークにoutlook.jp、hotmail、ezwebのメールアドレスで登録されている方は、お手数ですがメール変更の連絡をお願い致します。何らかの理由で、事務局からメールが届かない状態です。お手数をおかけしますが、所属、氏名、上記以外のメールアドレスを事務局まで送信をお願いいたします。特に、メールが一度も届いていない方、直ちにお知らせください!

メールアドレス変更の連絡先 事務局メールアドレス：jimukyoku@shiga-pt.or.jp

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

事務局 公文書発行

jimukyoku@shiga-pt.or.jp

担当：佐々木

TEL/FAX: 0749-46-0001

※お問い合わせ等は、できる限りメールをお願いいたします。

入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

財務関係

kaikai@shiga-pt.or.jp

担当：滋賀医大 平岩 川波

TEL/FAX 077-548-2670

発送物関係 総務部

reha@otsu.jrc.or.jp

担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、25日までにお申し出ください。折込発送は基本偶数月のみ発送します。

士会事業の案内はできる限り士会ニュースへの掲載をお願いいたします。

折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体など）。各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

ホームページ原稿受付

jimukyoku@shiga-pt.or.jp

担当：佐々木

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

士会ニュース原稿受付 広報部

shigaptnews@yahoo.co.jp

担当：公立甲賀病院 山添

介護報酬部

ptkaigohokennbu@yahoo.co.jp

担当：ナースステーションあうんケア栗東 片岡

診療報酬部

toyosato.rha@toyosato.or.jp

担当：豊郷病院 磯崎

※お問い合わせ等の際には、メールの件名に「診療報酬部への問い合わせ」と明記してください。

生涯学習関係 生涯学習管理部

h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp

担当：びわこリハビリテーション専門職大学 川崎

TEL 0749-46-2311

厚生事業関係 厚生部

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp

担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

公益事業部

shigapt_k_mk2016@yahoo.co.jp

担当：甲賀市水口医療介護センター 岸本

障がい者スポーツ支援部

ptshiga.parasports@gmail.com

担当：医療法人かさほら医院 石井

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の第7波がはじまり、約2ヶ月が経ちました。みなさんの病院、施設でも影響ははじていると思います。第37回滋賀県理学療法学会、市民公開講座で講演されていたように、新型コロナウイルスに打ち勝つためにも日頃からの運動習慣の大切さを啓発し、自らも実践することを心がけていこうと思います。



8月下旬
リリース予定

看護・ケア・リハ
院内・施設内の
研修実施・管理をトータルで!



かんたん選択
「カリキュラム」と
「対象スタッフ」を
選ぶだけ!

どこでも視聴
スマホ・PCでいつでも
どこでも視聴可能!
アプリもアプリ/PC両対応

自動管理
研修リマインダー、レポート
提出、加算算出付録
などをすべて自動化!



はぐくも

はぐくもとは、
研修業務を自動化するシステムです。
株式会社geneが提供する3つの専門職向けの動画配信サービス。
ナースステイ ケアラボ リハノメ をすべて視聴できます。

看護専門
ナースステイ

ケア専門
ケアラボ

リハ専門
リハノメ

全チャンネルで新コンテンツを毎週追加!

**こんなお悩みをもつ
管理者様に!**

- ✓ スタッフがオンライン研修を見てくれない
- ✓ スタッフによって学んでほしいことが違う
- ✓ 3職種 of 研修準備は手間もコストもかかる
- ✓ 業務と研修準備の両立が大変
- ✓ 研修の内容を決められない
- ✓ スタッフ全員の方向性を統一したい

01

かんたん2ステップで、あとはすべて自動!
カリキュラムと対象スタッフを選ぶだけで、研修計画の作成が完了! 介護保険の個別研修計画としても使用できます。視聴メーカのリマインダーからレポート作成まで全てお任せ!

**看護・ケア・リハの研修を
一元管理でコストカット**

各職種の専門チャンネルでコンテンツをどどん配信!
キャリアや専門性に合わせた研修を「はぐくも」1つで実現できます。

02

おすすめ機能!

03 オリジナル動画の共有
「コロナ禍により朝礼や会議が難しく、スタッフに情報共有ができません!」そんな時は、お手持ちのスマホ等で撮影した動画をはぐくもにアップロードするだけでかんたん共有!
ライトアカウントも視聴が可能ですので直接顔を合わせなくても、現場で働くスタッフはもちろん、事務員さんなど全員に管理者やリーダーの想いを伝えることができます。

料金体系

基本料金

- 初期設定費用 **55,000円(税込)**
- 今だけ0円!**
- 月額 **15,400円(税込)**
*おのれ利用にも応じます
- 追加視聴アカウント **880円(税込)**
- 追加管理アカウント **5,500円(税込)**
- ライトアカウント **330円(税込)**

自信があるから! **全額返金保証**
返金対象には一定の条件があります。詳しくはお問い合わせください。
※「はぐくも」は1年契約となります



seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611 **はぐくも** 検索

 @gene_llc
  @gene_llc
  @gene.seminar
  リハノメチャンネル

詳しくは
こちら



揺るがない医療人へ



**びわこリハビリテーション
専門職大学**

BIWAKO PROFESSIONAL
UNIVERSITY OF REHAB



〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967 **TEL:0749-46-2311**

<本学HP>